

事業の基礎情報

実施主体	根室市地域公共交通確保対策協議会
事業実施地域	根室市
共創の類型	・官民共創 ・他分野共創
他分野共創の類型	・商業 ・地域 ・観光
共創パートナー	Community Mobility株式会社
運行形態	A I オンデマンド交通
運行主体	根室ハイヤー組合

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

人口減少や少子高齢化の進行、社会情勢の変化に伴う利用者の減少や、慢性的な乗務員不足及び乗務員の高齢化など極めて厳しい状況であり、地域公共交通を維持・確保していくためには、行政、市民、企業等、地域全体が課題をあらためて認識するとともに、地域一体となった利用促進が欠かせない。本事業では、市街地に新たな公共交通システムであるA I オンデマンド交通を導入することで公共交通空白地域や交通弱者に対する移動支援を行うと同時に、居住地と商業施設・医療施設等の生活関連施設を効率的に運行することで公共交通に係る利便性の向上に加え、地域の事業者間で連携することにより、地域交通の維持・活性化を目指す。

（事業の概要）

根室市地域公共交通確保対策協議会を中心とした共創プラットフォームにて推進を図り、市街地においてA I オンデマンド交通の実証運行を実施し、地域の商店街などをはじめとした地域事業者や既存の交通事業者との連携を図り、交通に係る利便性を向上させると共に地域交通の維持・活性化を図る。

事業の全体像・共創の仕組み

■根室市地域公共交通確保対策協議会 構成メンバー

区分	所属	区分	所属
交通事業者	根室交通株式会社	道路管理者	国土交通省北海道開発局釧路開発建設部
	根室ハイヤー組合		北海道釧路建設管理部
	北海道旅客鉄道株式会社		根室市建設水道部
利用者団体	根室市町会連合会	公安委員会	根室市水産経済部
	根室市老人クラブ連合会		北海道警察釧路方面根室警察署
	根室市社会福祉協議会	国	国土交通省北海道運輸局釧路運輸支局
	根室市観光協会		北海道根室復興局
	根室市教育委員会		根室市
関係機関	私鉄総連根室交通支部		
	根室商工会議所		
	根室市商店連合会		

実施主体

根室市地域公共交通
確保対策協議会

企画、全体管理

協業

技術協力・支援

Community Mobility(株)

AIオンデマンド交通システム提供
企画・全体管理支援

運行協力

運行主体

根室ハイヤー組合

実証運行協力

取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

商業施設と連携した告知、プロモーションを検討し実施するほか、商業施設や各店舗に仮想停留所を設置し施設等への移動における利便性を向上させ商業施設の活性化を図る。また、これらに加え地域のイベントとの連携も図り、地域活性化に繋げる。既存交通事業者との連携においては、各社で取り組む遊覧バスや観光ハイヤー等について、地域イベントに合わせアプリを通じて全国のmobi会員に向け告知を行うなど連携を図り、地域住民だけでなく来訪者に向けた告知を行う。

(実証事業により見込まれる効果)

AIオンデマンド交通は、商業施設や各店舗への送迎やイベント等での可変的な対応など地域の細かな移動需要を取り込むことが可能であり、地域の経済活動との連携が容易である。本事業を実施することで交通弱者に対する支援となるほか、地域の移動における利便性を向上させることで、地域住民はもちろんのこと、車を持たない地域外からの来訪者などへの支援としても有効であり、地域における移動総量の増加が見込め、地域商店街・商業施設のさらなる活性化や、公共交通の維持、活性化に繋げることが可能である。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

年度	令和6年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議・地域イベント					イベント：かに祭り		イベント：さんま祭り					
補助事業手続等	交付申請等									精算	完了報告	
実施準備（地域連携）		告知、チラシ、プロモーション										
		共創連携具体化										
		運行計画策定、運行支援										
実証準備（運行）		システム準備										
実証運行			実証運行									
			データ取得・分析									
結果分析										とりまとめ、次年度検討		

(補助事業実施後の予定)

本事業を通じて得た結果を検証し、さらなる公共交通の維持、活性化に繋がる取組みを検討すると共に、本格運行を視野に進めていく予定である。